

写真はいずれも本人提供



アイハーツ株式会社 嶋田 周一郎さん

しまだ・しゅういちろう 北海道札幌市出身。立命館大学卒業後、東京のITベンチャー企業「アイハーツ株式会社(野田憲史代表)」に入社。4年目にして、同社初の地方拠点である新潟支店の設置を任される。現在、同社新潟支店長を務めながら、ふるさと納税の専門誌『ふるさと納税ニッポン!』編集長やふるさと納税コーディネーターとして、全国の自治体からの勉強会実施のオファーや、「ノンストップ!」(フジテレビ系列)などのテレビ番組をはじめとするメディアからの出演依頼を受けるなど、ふるさと納税に幅広く関わる。



「ふるさと納税」って、やりたいけど難しそう……。そんな中で人気となっているのが、デジタル総合広告代理店アイハーツ株式会社が発行する専門誌(ムック本)『ふるさと納税ニッポン!』。同誌の編集長・嶋田周一郎さんに、雑誌の特色や寄附の仕方について聞きました。



たくさんの自治体や返礼品が掲載されている

誰でも簡単! ふるさと納税 専門誌の若き編集長 インタビュー



今回のテーマは 住み続けられるまちづくりを

ふるさと納税の制度や仕組みが難しく、利用にまでは踏み出せない人が多いです。

ふるさと納税とは、生まれ育ったふるさとの自治体等に寄附できる制度です。寄附により、住民税や所得税が控除されます。その特徴としては、「(自分



掲載された事業者の写真(上から岐阜県関市、北海道白糠町、新潟県南魚沼市)

が生まれ育ったふるさと以外に、応援したい自治体を選んで寄附ができること」「自己負担2000円で、一定額が税金から控除されること」「(例外もありますが)ふるさと納税は、ふるさと納税の特産品をお礼の品(返礼品)としてもらえること」の三つが挙げられます。

このうち、ふるさと納税の「控除」について、分かりやすく言えば、給与所得者だと住民税、個人事業主だと住民税と所得税を、それぞれ「前払い」するのだと考えてもらえばいいです。例えば、今年中に、ある自治体に寄附(ふるさと納税)したとすると、来年度に徴収される住民税から控除されます。5月6月ごろに手元に届く「住民税決定通知書」で、差し引かれた住民税の金額を確認すれば、すぐに実感していただけると思います。

ふるさと納税の手続きが『ふるさと納税ニッポン!』では簡単にできると聞きました。

生の声にこだわりながら 地方を元気にすることで 日本を元気にしたい

そして、もう一つの特徴としては、返礼品を生産・製造されている事業者さんのもとに直接足を運び、その顔や声を掲載しているということ。ふるさと納税を始めるのに、やはり返礼品は大きな魅力である

り、決め手にもなると思うんです。その事業者さんの顔が分かれば、より親しみを覚える。その自治体さんを応援できるようなになる。例えば、事業者さんが「なぜ、その町で牛を育てているのか」とか、「どう畑を耕しているのか」とか、そういった情報を読者の皆さんに喜んでいただいているのではないのでしょうか。

SDGsでは「住み続けられるまちづくりを」が掲げられていますが、『ふるさと納税ニッポン!』は、地域活性化にどう向き合っていますか。

北海道白糠町のお話ですが、人口約7200人、高齢化率約42%なんです。このまあいっくと、どんどん人が減っていく。そんな中、棚野町長が「切り札」として力を入れたのが、ふるさと納税制度だったんです。今では年間約148億円もの寄附金が全国から寄せられるようになった。何より素晴らしいのは、それを財源に、大胆な子育て支援や子どもための教育環境を整備するなど「将来に向けた投資」を積極的に進め、昨今、子育て世代の転入者が増えていることです。地方に行き、ふるさとがなくなるかもしれないという厳しい

現状を目にすればするほど、地域の活性化に向けた一筋の光に値するこの制度をもっと活用すればいいのって思います。そこから、例えば、リモートワークとの組み合わせによる地方移住や就労など、より深い貢献につながっていくのではないのでしょうか。

ふるさと納税に一步踏み出すことで、日本の良さを再発見できます。ふるさとの地域活性化の入り口に過ぎないかもしれないが、これから弊誌は、寄附者さん、自治体さん、事業者さんの三者の橋渡しをし、地方を元気にすることで日本を元気にしていきたいと思えます。

一つの特徴は、雑誌であるという点です。ネットで情報を発信するふるさと納税の関連サイトはたくさんありますが、その中で弊誌は雑誌にこだわってきました。発行は年2回で、部数は年間10万部以上。40代以上の読者が約78%を占めます。雑誌に「寄付受付書」を付けたこともあり、「FAXで簡単に寄附ができる」と、ネットでの情報収集が苦手な高齢者にも喜ばれています。

簡単に手続きができる以外にふるさと納税ニッポン!の特色はあります。



読者プレゼント ふるさと納税ニッポン! 100人に



『ふるさと納税ニッポン!』2023夏秋号(写真)を100人にプレゼントします。希望者はハガキに①〒住所②氏名③年齢④電話番号⑤記事の感想を記入し、アイハーツ株式会社(〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1の12の9)まで応募してください。締め切りは9月9日(土)。個人情報保護法に基づき、プレゼントの発送にのみ使用。また、ふるさと納税の方法についての問い合わせはアイハーツ株式会社(0422-281-1800)まで。なお、正確な控除額についてはお答えできません。



※電子版では、長文記事を無料で読めます。左の2次元コードを読み取ってください。

ご意見、ご感想をお寄せください sdgs@seikyo-np.jp

※SDGs(エスディー・ジーズ)＝持続可能な開発目標

Weather forecast table for various cities including Tokyo, Osaka, and others, showing temperature and weather icons for the week.

Advertisement for TOPPA!!! TOPPAN, featuring a large graphic and promotional text.

Table showing the main cities across Japan and their respective weather conditions.

Map of Japan showing weather conditions and a forecast for the next 15 days.